

本に親しむ企画が盛りだくさん
第22回図書室まつり開催

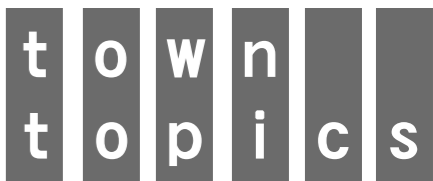
12月3日、第22回目となる図書室まつり（主催・図書室まつり実行委員会）が、中央公民館で開催されました。

毎年人気を集める「古本市」では、文庫本から新書本、児童書、小説、実用書、雑誌など様々な分野の古本が1冊10円から販売され、開場と同時に多くの読書好きが訪れました。

また、各会場では第29回読書チャレンジ表彰式やハーブの生演奏と朗読による読み聞かせ、図書室クイズなど、本に親しむための様々な企画が催され、家族連れなどで賑わいました。



▲恒例の古本市には今年も多くの人が訪れました



まちのわだい

北海道コカ・コーラがクリスマスプレゼント
高齢者福祉施設へ清涼飲料寄贈

11月30日、津別町社会福祉協議会事務局で、北海道コカ・コーラボトリング株式会社から町内の高齢者福祉施設へ寄贈される飲料製品の贈呈式が行われました。

同社の社会貢献事業の一環として、昭和43年から実施されているもので、道内各地の福祉施設等へ一足早いクリスマスプレゼントを届けています。



▶北海道コカ・コーラの齊藤課長（左）と社会福祉協議会・原田会長（右）

この日、齊藤正彦網走販売課長らが持参したジュースや緑茶など17ケースの清涼飲料は、社会福祉協議会を通じて、いちいの園、ケアハウスなど町内5か所の高齢者福祉施設に贈られました。

津別町にゆかりのJリーグ・奈良竜樹選手
所属する川崎フロンターレのJ1リーグ優勝を報告

12月18日、サッカーJ1リーグ・川崎フロンターレ所属の奈良竜樹選手が、平成29年のリーグ



▲佐藤町長と記念写真に納まる奈良選手

グ戦初優勝を土産に佐藤町長を表敬訪問しました。奈良選手は北見市生まれですが、お母さんが津別町出身というので、幼少の頃からたびたび本町を訪れています。

平成29年シーズン、ドイツフェンダーとしてリーグ戦27試合、カップ戦8試合に出場した奈良選手は、堅実な守備でチームの躍進に大いに貢献。「来シーズンは全試合出場とリーグ連覇、日本代表入りが目標です」と、抱負を話していただきました。

飲酒運転による交通事故多発に伴う緊急メッセージ

平成29年1月から道内では、飲酒運転交通事故が多数発生しております。

最近では11月27日（月）午後10時ごろ、登別市の道道で普通乗用車が信号機のある道路で横断中の歩行者に衝突し、歩行者（19歳・男性）が亡くなりました。

また、12月4日（月）には帯広と函館において道路交通法違反（酒気帯び運転）の疑い等で現行犯逮捕されており、飲酒運転による交通事故が多発する傾向にあります。

《飲酒運転の根絶！》

年末・年始にかけて、忘年会や新年会、成人式、冬休みを利用した同窓会などお酒を飲む機会が増えます。

飲酒運転は、最悪の結果を招きます。運転を止められるのは同乗者、周囲にいる人しかいません。鍵を取り上げて運転させない。飲酒運転を根絶するため、皆様のご協力をお願い致します
・（一社）美幌地区交通安全協会
・美幌地区安全運転管理者協会
・北見方面美幌警察署

地方創生の取り組み 3

輝く町となれるか
結果が出るのは早くして10年後

オホーツク管内で人口減少率が最も低い訓子府町。森林資源活用のトップランナー下川町。写真甲子園で有名な東川町。官民連携、民間主導で活気を取り戻した岩手県紫波町、岡山県西栗倉村。どの自治体も小さいながらもキラリと輝く町ですが、ここまで来るにはどこかの真似でもない、独自の取り組みを続けた、先人たちの地まぬ努力があったからです。未知の領域に一步踏み出すのは勇気のいる事ですが、それを無くして輝く町となることはありません。

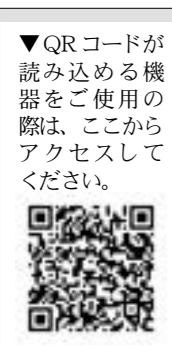
各懇談会での「意見」を謹聴して

10月28日開催の複合庁舎建設等まちなか再生基本計画策定に向けた「住民懇談会」では47名、11月2日から12月5日までの期間に開催された「まちづくり懇談会」には、例年より多い延べ296名に参加いただきました。

また、先月号でご案内しております「団体向け出張説明会」も11月に一団（25名参加）、この1月にも一団から要望が来ています。

各懇談会では、意見交換だけではなくアンケート調査も実施しており、203名の方から回答をいただきました。これら寄せられた貴重なご意見等については、集計・分析の後、住民の皆様へ開示していきます。

住民懇談会の資料およびその模様は、町のホームページからご確認ください。



稼ぐ町の布石
「まちづくり」会社



▲10月28日開催の住民懇談会の様子

前回は、津別を通して人に町でお金を使ってもらう仕掛けとして、3点ご紹介しましたが、①特産品開発については、町内30社以上をヒアリングし、直ぐにでも販路拡大への取り組みができるものから、時間を掛け商品化するものまで様々な資源があることを確認しました。

今後はそれらを売り出す場としての②（仮称）つべつマルシェを試験的に実施するための準備や、その運営に当たる③（仮称）津別まちづくり会社の設立準備に入ります。設立には運営を取り仕切るマネージャーが欠かせないため、その役を担う人材を募集

エリアリノベーション・プロジェクト加速！

先月号でご紹介した、空き家等に新しい価値を持たせる本事業は、9月から本格始動し、現在まで計6回のワークショップを開催しています。

今後は、実際に移住希望者や起業希望者、その支援を出来る人、したい人など、人が集い繋がる場（ゲストハウス・コワーキングスペース）の運営希望者を募集する手続に入ります。そして次年度は、その試金石となる施設を空き家利活用で整備します。



▲12月に開所した「居場所」の内部

支えあいのまちづくりで
居場所を開設

事業の実施主体は社会福祉協議会ですが、障がい者、生活困窮者（ひきこもり者等）

第2回住民懇談会の開催日について(変更)

各懇談会について皆様には、開催予定として、年末年始の時期とお知らせしておりましたが、現在も調整中であり、2月上旬から中旬頃となる見込みです。誠に申し訳ありませんが日程が決まり次第、広報折込チラシや自治会回覧などで周知して参ります。